

# ●全町内会で「のみ活倶楽部」を実施し、認知症予防を！！

- ①介護予防普及啓発講座：全町内会75地区、86回開催
- ②「のみ活コーチ」養成：36名修了
- ③「のみ活倶楽部」を町内会で実施：75町会のうち47町内で実施（週1回～）

## ① 普及・啓発

### ★介護予防普及啓発講座

「認知症予防について」

\* 実施期間

5/22～7/26

\* 実施場所

能美市内全町(内)会  
公民館等

(75ヶ所、86回開催)

\* 参加人数：1761人

## ② 介護予防人材育成

### ★「のみ活コーチ」 育成

\* 開催時期：11/10・11  
11/24・25

(4日間：20時間)

\* 修了者：36名

### ★「貯筋教室指導者」研修 会

\* 指導者数：11名

## ③ のみ活倶楽部

### ★町(内)会での健康 (認知症予防)教室の開催

①運動

②食生活

③脳トレ

④笑い

★貯筋通帳の活用支援  
(歩数の記録・体力測定・  
健診データの推移で効果  
判定)

### 【のみ活倶楽部の取り組み状況】 H25.4.10現在

◆根上地区：19町内会中14町内会で実施または実施予定

◆寺井地区：22町内会中18町内会で実施または実施予定

◆辰口地区：37町内会中15町内会で実施または実施予定

(H24年度実践、体験：2,600人参加)

## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	能美市
②人口（※1）	49,559人 ( )
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上：11,034人：22.3% ( ) 75歳以上：5,214人：10.5%
① 取組の概要	① 普及啓発講座 ② 「のみ活コーチ」養成 ③ 「のみ活倶楽部」（認知症予防）開催
⑤取組の特徴	①身近な町内会の公民館での認知症予防教室の実施（普及啓発講座で周知） ②全町会での「のみ活倶楽部」の実施を目標 ③指導者は「のみ活コーチ」（指導者養成研修修了者）
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	①普及啓発講座（全町内会：85回）：5～7月 ②「のみ活コーチ」養成講座開催：10月：36人修了 ③「のみ活倶楽部」（認知症予防）開催：11月～
⑧主な利用者と人数	① 65歳以上 ② 普及啓発講座：1,761人 参加 ③ 「のみ活倶楽部」開催町内会数：47町内会 2,600人 参加
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	① 能美市 ② 町内会、老人会 ③ 地域福祉委員会
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	直営
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	平成24年度：長寿社会ソフト事業交付金 （10/10：（財）地域社会振興財団助成金2,000千円） 平成25年度：地域支援事業
⑫取組の課題	全町内会で組織化 継続実施
⑬今後の取組予定	未実施の町内会への働きかけ 認知症予防：健診データ学習、食学習、体力測定の職員派遣での支援
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	能美市介護長寿課高齢者支援センター 0761-58-2234

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

# ●ケアプラン会議・地域ケア会議⇒軽度者の自立支援強化

○総合相談より

☆本人・家族からの相談

☆民生委員からの情報

☆医療機関からの情報

介護認定更新申請で、要介護から要支援への移行  
(介護予防給付)

高齢者支援センター職員による個別訪問にてアセスメント  
(介護予防・日常生活支援総合事業)

生活行為評価票で対象者選定

要支援認定者のうち状態像が維持若しくは悪化が予測され、軽度であるが認知症を有する者や脳卒中の麻痺などを有する者  
○入浴等の身体介護が必要

要支援認定者のうち状態像が改善若しくは改善に近い維持が予測され、自立心が高い者  
○関節疾患や筋力低下等  
○住宅改修のみ利用  
○福祉用具貸与のみ利用

二次予防対象者のうち生活機能低下が予測される者  
○筋力低下・閉じこもり等  
○介護保険申請を行っても非該当になる可能性が高い。又介護予防サービスを受ける意向がない。

要支援新規ケアプラン会議  
必要時：多職種による地域ケア会議

高齢者支援センター職員によるマネジメント  
(ケアプラン会議 ※サービス事業所参加)  
必要時：多職種による地域ケア会議